

授業概要

年間を通じた学習到達目標に基づく評価の方法について講義する。言語能力の評価において、ペーパーテストだけでなく、実際に生徒が話したり書いたりするプロセスや結果などパフォーマンスに対する評価と、良いテストの条件やテストに即した適切な評価の方法について指導する。併せて、小学校における英語も踏まえ、中学校と高等学校の一連の流れを想定し、実際にパフォーマンス活動を設定して体験的に指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	テストと評価 (1): テストの目的と種類
第 3 回	テストと評価 (2): 良いテストの備えるべき条件
第 4 回	テストと評価 (3): 到達度テストの在り方
第 5 回	テストと評価 (4): 結果の分析
第 6 回	教員養成と教員研修 (1): 英語教員になるための英語力・授業力
第 7 回	教員養成と教員研修 (2): 現職英語教員の研修
第 8 回	教員養成と教員研修 (3): 教員免許更新制度と教員養成制度の改革 (コアカリキュラム)
第 9 回	教員養成と教員研修 (4): FD と理想の英語教員像
第 10 回	小学校英語 (1): 小学校英語教育の変遷
第 11 回	小学校英語 (2): 小学生の特徴
第 12 回	小学校英語 (3): 学習指導要領と小学校外国語としての英語教育
第 13 回	小学校英語 (4): 授業展開と小学校外国語教育の評価
第 14 回	まとめ (1): 外国語 (英語) 教育の展望と課題
第 15 回	まとめ (2): 小学校・中学校・高等学校を通じた英語教育の将来性
第 16 回	

到達目標

- ① 言語能力の測定と評価 (パフォーマンス評価等を含む) の方法について理解することができる。
- ② 教員養成・研修の制度から教師像として求められる英語力・指導力・人間性について理解することができる。
- ③ 小学校・中学校・高等学校を通じた英語教育の在り方について理解することができる。

履修上の注意

外国語 (英語) 教職課程希望の履修者が望ましい。

「英語科教育法Ⅰ」「英語科教育法Ⅱ」を履修済みで、「英語科教育法Ⅲ」を同時に履修することが望ましい。

予習・復習

- ① 授業で気付いたこと、学んだことを振り返り、記録をつける。
- ② 次の授業に備えて与えられた課題を行う。
- ③ 自己の英語語彙力や文法知識を充実させるための学習を行う。

評価方法

レポート (30%)、発表・課題 (40%)、授業態度 (30%)

テキスト

テキスト

『新・グローバル時代の英語教育』、岡秀夫他、成美堂、ISBN: 9784791972180

参考資料等

『学習指導要領 (小学校・中学校・高等学校)』『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編』『学習指導要領解説 外国語編 (中学校・高等学校)』、文部科学省